

科目名	スタイリストワーク I				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. スタイリストアシスタントに必要な知識の習得（アイロン・靴裏張り・商品の取り扱い方法など） 2. プレス業務に必要なスタイリング力の習得と向上 3. プレス編集に必要なスタイリングから紙面への構成力を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	スタイリストとしての基礎知識。アイロンのかけ方・スカーフネクタイ・マフラーの巻き方・サイズ調整・靴の裏張り・商品の取り扱い方・着せつけの注意。基礎知識を基に応用として発想力・デザイン力・アート感覚を育成する課題を設定。個人課題が中心で行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コーディネートの世界				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入スタイリストの仕事とは スタイリストの仕事の流れの講義		スタイリストのお仕事や内容。		
2	テイストコーディネートプラン作成。テイストを知る		テイストの講義説明解説 テイストを理解しスタイリングしてみる。		
3	課題①テイストコーディネート撮影		テイストスタイリングを自分に行ってみる。撮影		
4	アイロンかけの基本		様々な素材やアイテムに対応したアイロンのかけ方を学ぶ。		
5	採寸方法		グループに分け体の部位名称や採寸方法を学ぶ		
6	まつり縫い方法		パンツの裾上げまつり縫いの方法を学ぶ		
7	春夏トレンドを知る		春夏のトレンドについて講義（万代のショップへ宿題でトレンドマーケティングレポート）		
8	課題② 雑誌のページ企画撮影①		グループ・チームに分け雑誌のページ企画を考える		
9	雑誌のページ企画撮影②		雑誌の企画ページ作成企画・レイアウト		
10	雑誌のページ企画撮影③		商品物撮り撮影。スタイリング		
11	雑誌のページ企画撮影④		撮影した商品をPCに取り込み雑誌のレイアウトを作成しプロモーションページを編集作成		
12	課題③カラーコーディネート講義		カラーコーディネート色を使ったコーディネートのルールを説明。		
13	カラーコーディネートスタイリング撮影		カラーコーディネート自分をモデルに撮影		
14	小物を主役にしたスタイリング撮影		雑誌を真似た小物（時計・帽子・靴など）		
15	体型カバースタイリング		体型カバー講義 1 H体型カバーを考えスタイリングシート作成 2 H		
16	ミシンの基礎 直線縫いなど		ミシンの基礎的な使い方お直し		
17	企業へのレンタル方法についてやアが取り		プレスルームへのアポイントについて		
18	スタイリスト講演会		現役スタイリストさん講演会		
19	スタイリスト撮影見学		撮影現場見学会		
20	勝手に広告コンテスト立案		勝手に広告コンテスト応募のための企画		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	スタイリストワーク I				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. スタイリストアシスタントに必要な知識の習得（アイロン・靴裏張り・商品の取り扱い方法など） 2. プレス業務に必要なスタイリング力の習得と向上 3. プレス編集に必要なスタイリングから紙面への構成力を身につける				
学習目標 (到達目標)	スタイリストとしての基礎知識。アイロンのかけ方・スカーフネクタイ・マフラーの巻き方・サイズ調整・靴の裏張り・商品の取り扱い方・着せつけの注意。基礎知識を基に応用として発想力・デザイン力・アート感覚を育成する課題を設定。個人課題が中心で行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コーディネートの世界				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	美少女図鑑企画書作成 美少女図鑑とは講義		美少女図鑑とはフリーペーパーについて解説。作品審査について		
2	美少女図鑑企画書作成		美少女図鑑企画書作成中間チェック		
3	ウエディングドレスの知識講義		ウエディングドレス講義		
4	ドレスショップ見学 とまつ衣裳店		ドレスショップ見学・ドレスの着付けについて		
5	帽子的スタイリング講義		頭の形や顔型による似合う帽子的の形など		
6	帽子的スタイリング撮影		帽子的の撮影		
7	SNSをテーマにした擬人化撮影①		SNSをテーマにしたスタイリングの撮影カラーコーディネートやテイストのまとめ		
8	SNSをテーマにした擬人化撮影②		SNSをテーマにしたスタイリングの撮影カラーコーディネートやテイストのまとめ		
9	テイストマップ作成		ファッションのテイストを知り自分の苦手なテイストのコーディネート企画を作成してみる。		
10	ファッション広告ページ制作①企画書制作（広告コンテスト）		勝手に広告コンテストの解説とコンテスト作品の企画作り		
11	ファッション広告ページ制作②撮影プラン		勝手に広告コンテスト企画書作成		
12	ファッション広告ページ制作③コーディネート撮影		勝手に広告コンテスト撮影		
13	VMDの基本テクニック1		VMDの基本的な知識を学ぶフォーミング		
14	VMDの基本テクニック2		VMDの基本的な知識を学ぶテーブルコーディネート		
15	VMDの基本テクニック3		ディスプレイの企画を考えてみる		
16	VMDの基本テクニック4		VMDスペースの作成		
17	VMDの基本テクニック5		VMDスペースの作成		
18	ファッションショー企画の考え方		ファッションショーの企画を考えてみる。		
19	ファッションショー企画書作成		ショーの企画書やコンセプトワークを学ぶ		
20	プレゼンテーション		プレゼンテーションについてショー企画のプレゼンテーション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	メイクテクニックⅠ				
担当教員	渡邊 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 メイクの基礎知識を学ぶ 2 ポイントメイクの技術を学び、楽しさを知る。 3 人の顔、髪に触れることに慣れる				
学習目標 (到達目標)	1.メイク道具の名称を説明できる。2.メイク道具をニーズに合わせて使いこなせる。3.各パーツのポイントメイクの施術ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	基礎知識		道具の種類、使用法、手入れ方法を説明		
2	基礎技術 スキンケア		相モデルでクレンジング、化粧水、乳液の流れを練習		
3	基礎技術 ベースメイク		下地、コンシーラー、パウダーfdの流れを練習		
4	基礎技術 ベースメイク		下地、コンシーラー、リキッドfdの流れを練習		
5	基礎技術 ベースメイク		相モデルでハイライト、シェーディング、チークの練習		
6	基礎技術 ベースメイク		相モデルでハイライト、シェーディング、チークの練習		
7	基礎技術 ベースメイク パウダーfd		相モデルでクレンジング～ベースメイク作り完成		
8	基礎技術 ベースメイク リキッドfd		相モデルでクレンジング～ベースメイク作り完成		
9	基礎技術 ポイントメイク 眉		レジーナで眉を書く練習		
10	基礎技術 ポイントメイク 眉		相モデルで眉を書く練習		
11	基礎技術 ポイントメイク 目元		相モデルで綺麗なグラデーションを作る練習		
12	基礎技術 ポイントメイク 目元		相モデルで綺麗なグラデーションを作る練習		
13	基礎技術 ポイントメイク 目元		相モデルで有彩色を使って印象を変える練習		
14	基礎技術 ポイントメイク 目元		相モデルで有彩色を使って印象を変える練習		
15	基礎技術 ポイントメイク 目元		相モデルでアイカラー～マスカラまで完成		
16	基礎技術 ポイントメイク 口		リップブラシの持ち方、2パターンの描き方を練習		
17	基礎技術 トータルメイク ナチュラルメイク		相モデルでクレンジング～フルメイク完成		
18	基礎技術 トータルメイク ナチュラルメイク		相モデルでクレンジング～フルメイク完成		
19	基礎技術 トータルメイク シャープメイク		相モデルでクレンジング～フルメイク完成		
20	基礎技術 トータルメイク シャープメイク		相モデルでクレンジング～フルメイク完成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての実習項目に出席し、基礎知識を身につけること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	メイクテクニックⅠ				
担当教員	渡邊 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 ヘアの基礎知識を学ぶ 2 人の顔、髪に触れることに慣れる 3 ヘアアレンジ技術を学び、楽しさを知る。				
学習目標 (到達目標)	1.ヘア道具の名称を説明できる。2.ヘア道具をニーズに合わせて使いこなせる。3.イメージ通りのヘアアレンジの施術ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	基礎知識		道具の種類、使用方法、頭部の名称説明		
2	基礎技術 ホットカーラー		レジーナでブラッシング、ホットカーラー巻く練習		
3	基礎技術 ホットカーラー		レジーナでブラッシング、ホットカーラー巻く練習		
4	基礎技術 ホットカーラー(テスト)		ホットカーラー全頭巻を時間内に作成		
5	基礎技術 ピンニング		レジーナで前頭部のピン打ち練習		
6	基礎技術 ピンニング(テスト)		ピン打ちを前頭部に8本綺麗に時間内に作成		
7	基礎技術 コテ		コテの使い方、内巻き、外巻き、ウエーブの練習		
8	基礎技術 コテ		コテの使い方、内巻き、外巻き、ウエーブの練習		
9	基礎技術 まとめ髪		レジーナで3パターンのポニーテールのやり方を練習		
10	基礎技術 まとめ髪		レジーナで3パターンのポニーテールのやり方を練習		
11	基礎技術 編み込み		基本の毛束の持ち方、指の使い方を練習		
12	基礎技術 編み込み		表編み、裏編み、片編み、フィッシュボーンの練習		
13	基礎技術 編み込み		表編み、裏編み、片編み、フィッシュボーンの練習		
14	基礎技術 アップスタイル		編み込み1つを入れたアップスタイルの作成		
15	基礎技術 アップスタイル		編み込み1つを入れたアップスタイルの作成		
16	基礎技術 オリジナルアップスタイル(テスト)		ピンニング、編み込みを入れたアップスタイルの作成		
17	基礎技術 オリジナルアップスタイル(テスト)		ピンニング、編み込みを入れたアップスタイルの作成		
18	基礎技術 イメージメイク		基礎をふまえて相手にあうメイクを立案		
19	基礎技術 イメージメイク		相モデルで立案通りに仕上げる		
20	基礎技術 イメージメイク		相モデルで立案通りに仕上げる		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての実習項目に出席し、基礎知識を身につけること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	カメラワーク				
担当教員	三富 晴美	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. カメラの基本的な使用方法を身につける 2. 照明・ライティング・機材の使い方を身につける 3. 人物の撮影や商品の物撮りの方法を身につける				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、ストロボの操作方法。スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入カメラの使い方、カメラに触れる①操作方法		操作方法の基本や撮影の方法などをレクチャー		
2	導入カメラの使い方、カメラに触れる②撮影		実際に撮影をしてみる		
3	カメラ基礎①(絞り、シャッタースピード、感度、露出)①		カメラの撮影テクニック知る。		
4	カメラ基礎①(絞り、シャッタースピード、感度、露出)②		カメラの撮影テクニック知る。実際に撮影してみる		
5	カメラ基礎②(ホワイトバランス、構図、光の方向及び効果)①		カメラの撮影テクニック知る。		
6	カメラ基礎②(ホワイトバランス、構図、光の方向及び効果)②		カメラの撮影テクニック知る。実際に撮影してみる		
7	写真展覧会 観賞		美術館での写真展覧会の見学と感想レポート提出		
8	人物の撮影		人物の撮影方法や照明などの使い方		
9	ストロボを使った撮影①		ストロボを使用した撮影方法の色々		
10	ストロボを使った撮影②		ストロボを使用した撮影方法の色々		
11	風景の撮影		風景の撮影 自由課題		
12	課題 (NO LIFE ○○○) 1		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
13	課題 (NO LIFE ○○○) 2		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
14	課題 (NO LIFE ○○○) 3		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
15	課題 (NO LIFE ○○○) 4		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
16	課題 (NO LIFE ○○○) 5		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
17	商品の物撮り①		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。撮影		
18	商品の物撮り②		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。撮影		
19	商品をフォトショップで加工 1		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。加工		
20	商品をフォトショップで加工 2		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。加工		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

科目名	カメラワーク				
担当教員	三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. カメラの基本的な使用方法を身につける 2. 照明・ライティング・機材の使い方を身につける 3. 人物の撮影や商品の物撮りの方法を身につける				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、ストロボの操作方法。スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	綺麗な写真の画角（構図について）		前期の復習 構図について学ぶ撮影		
2	明るい写真・暗い写真（ISO感度・露出補正）		前期の復習 感度・露出について学び撮影		
3	色について（ホワイトバランス・モノクロ）		前期の復習 ホワイトバランス・モノクロ写真撮影		
4	課題「カラーとモノクロ」撮影		課題作成		
5	テーブルフォットについて・課題の説明、撮影①		テーブルを使った写真撮影		
6	テーブルフォットについて・課題の説明、撮影②		テーブルを使った写真撮影		
7	光の向き（順光・逆光・半逆光）と課題説明		光の技法をテーマに撮影課題作成		
8	綺麗な写真のコツ（人物の撮り方）		人物撮影		
9	スタジオのセットの仕方・ライトの使い方1		スタジオを組み立て撮影してみる		
10	スタジオのセットの仕方・ライトの使い方2		スタジオを組み立て撮影してみる		
11	スタジオのセットの仕方・ライトの使い方3		スタジオを組み立て撮影してみる		
12	スタジオ見学		写真スタジオの見学		
13	発表・カメラ筆記テスト・ワークショップ：手作りフィルター		課題発表。まとめ小テスト、フィルターを作り撮影してみる		
14	ライティングおさらいとテーマに合わせたライトの組み方・課題考察		ライティングを使った撮影技術について学ぶ。撮影		
15	課題「自由課題」作成1		最終課題の作成（広告写真撮影）		
16	課題「自由課題」作成2		最終課題の作成（広告写真撮影）		
17	課題「自由課題」作成3		最終課題の作成（広告写真撮影）		
18	課題「自由課題」作成4		最終課題の作成（広告写真撮影）		
19	課題「自由課題」作成5		最終課題の作成（広告写真撮影）		
20	編集（イラレで文字をいれる）提出・発表		最終課題の作成（イラレで文章を入れる）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①、②		教科書 p 8～p11 過去問題演習		
2	ファッション販売知識③		教科書 p 12～p14 過去問題演習		
3	ファッション販売知識④、⑤		教科書 p 15～p16 過去問題演習		
4	ファッション販売知識⑥		教科書 p 17～p18 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p 20～ p 31 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p 32～ p 33 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p 34～ p 36 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④		教科書 p 37～ p 40 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑤		教科書 p 41～ p 43 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑥		教科書 p 44～ p 45 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p 174～ p 181 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p 182～ p 186 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p 186～ p 191 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p 192～ p 197 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3／ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p 46～p 75 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p 76～p 81 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p 82～p 93 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p 94～p 101 過去問題演習		
5	商品知識⑤		教科書 p 102～p 105 過去問題演習		
6	商品知識⑥		教科書 p 106～p 117 過去問題演習		
7	商品知識⑦、⑧		教科書 p 118～p 135 過去問題演習		
8	商品知識⑨、⑩、⑪		教科書 p 136～p 151 過去問題演習		
9	売り場づくり①		教科書 p 152～p 159 過去問題演習		
10	売り場づくり②		教科書 p 160～p 167 過去問題演習		
11	売り場づくり②		教科書 p 168～p 173 過去問題演習		
12	販売スタッフの業務①、②		教科書 p 198～p 204 過去問題演習		
13	販売スタッフの業務③、④		教科書 p 205～p 209 過去問題演習		
14	販売スタッフの業務⑤		教科書 p 210～p 213 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				



科目名	イラストレーターB				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの基本的な操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	動機付け・自己紹介・インストール確認・機能紹介	P2～27			
2	ロゴマーク作成・文字ツール①	P88～96			
3	ロゴマーク作成・文字ツール②	P88～96			
4	画像の出力と保存・フォントについて①	P130～148			
5	画像の出力と保存・フォントについて②	P200～204			
6	クリッピングマスク①	P228～234			
7	クリッピングマスク②	P228～234			
8	柄の作り方①	P112～P117			
9	柄の作り方②	P112～P117			
10	ペンツールの使い方・トレース①	P76～88			
11	ペンツールの使い方・トレース②	P76～88			
12	ハンガーイラスト：Tシャツ①	P76～88			
13	ハンガーイラスト：Tシャツ②	P76～88			
14	ハンガーイラスト：Tシャツ③	P76～88			
15	オリジナルロゴ作成①	P184～190			
16	オリジナルロゴ作成②	P184～190			
17	オリジナルロゴ作成③	P184～190			
18	名刺の作り方①	P222～227			
19	名刺の作り方②	P222～227			
20	名刺の作り方③	P222～227			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。			
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーターB				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの実用操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの実用操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショップパー作成①		オリジナルテキストにて実習		
2	ショップパー作成②		オリジナルテキストにて実習		
3	ショップパー作成③		オリジナルテキストにて実習		
4	ショップパー作成④		オリジナルテキストにて実習		
5	カレッジロゴ①		P130～P137		
6	カレッジロゴ②		P130～P137		
7	カレッジロゴ③		P130～P137		
8	カレッジロゴ④		P130～P137		
9	フライヤー①		P228～234		
10	フライヤー②		P228～234		
11	フライヤー③		P228～234		
12	フライヤー④		P228～234		
13	フォトショップについて①		オリジナルテキストにて実習		
14	フォトショップについて②		オリジナルテキストにて実習		
15	フォトショップについて③		オリジナルテキストにて実習		
16	レイヤーと選択範囲・マスクについて①		オリジナルテキストにて実習		
17	レイヤーと選択範囲・マスクについて②		オリジナルテキストにて実習		
18	レイヤーと選択範囲・マスクについて③		オリジナルテキストにて実習		
19	画像の合成①		オリジナルテキストにて実習		
20	画像の合成②		オリジナルテキストにて実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売 検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション		マーケティング授業の方針やルールなど		
2	INTRODUCTION 自己紹介 マーケティングとは考え方 進め方		マーケティングの基本的な考え方		
3	戦略と戦術 STP		戦略と戦術について		
4	STPパワーボ使い方		パワーポイントの使い方		
5	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
6	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
7	ポジショニングプレゼン		ポジショニング課題のプレゼンテーション		
8	4 Pについて		4 Pについて		
9	4 Pについて		4 Pについて		
10	ブランドアイデンティティ		ブランドアイデンティティについて		
11	ファッションテイスト		ファッションのテイストについて		
12	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
13	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
14	企画書作成 ポジショニング		ブランド企画書作成		
15	企画書作成 スタイルマップ		ブランド企画書作成		
16	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
17	企画書作成 差別化		ブランド企画書作成		
18	企画書作成 ニーズとウォンツ		ブランド企画書作成		
19	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
20	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画書作成 4P		企画書作成		
2	企画書作成 4P		企画書作成		
3	企画書作成 顧客の囲いこみ		企画書作成		
4	企画書作成 顧客の囲いこみ		企画書作成		
5	企画書作成		企画書作成		
6	企画書作成		企画書作成		
7	企画書作成		企画書作成		
8	企画書作成		企画書作成		
9	企画書作成		企画書作成		
10	企画書作成		企画書作成		
11	企画書作成		企画書作成		
12	企画書作成		企画書作成		
13	企画書作成		企画書作成		
14	企画書作成		企画書作成		
15	企画書作成		企画書作成		
16	企画書作成		企画書作成		
17	企画書作成		企画書作成		
18	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査		
19	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査		
20	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える		演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。		
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について(色相・明度・彩度)についての理解		テキストP24~P27・P30・P31		
3	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 心理四原色・24色相について		テキストP31~P35		
4	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 トーン表について。トーンの種類の手掛かりを覚える。		テキストP31~P35・小テスト24色相		
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明		テキストP6~P8・小テストトーン表		
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説		テキストP9~P12		
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方		テキストP13・P15		
8	照明と色の見え方		テキストP16・P17		
9	混色について解説 加法混色・減法混色		テキストP18~P23		
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説		テキストP28~P29・P33~P35・P40~P41		
11	色の視覚効果・対比とは(色相対比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比)		テキストP48~P51		
12	補色対比・縁辺対比		テキストP52~P53 ワークシート		
13	色の視覚効果・同化とは(色相同化・明度同化・彩度同化)		テキストP54~P57		
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(同一・隣接・類似)		テキストP62~P69		
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(中差・対照・補色)		テキストP70~P75		
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色		テキストP76~P81		
17	セパレーション・アクセント・グラデーション		テキストP82~P87		
18	色彩心理・色の心理的効果について・色の知覚的効果について		テキストP42~P47		
19	色彩心理・色の心理的効果について・色の知覚的効果について		テキストP58~P61		
20	復習・まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。 全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。 全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Exceld過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	エクセルの基本		起動から終了P2～20 演習P21, 22		
2	データの編集		新規ブックから保存P24～54		
3	データの編集		演習P55, 56		
4	表の編集		罫線から行・列の挿入P58～82		
5	表の編集		演習P83, 84		
6	ブックの印刷		表示モードから印刷範囲P86～100演習P101, 102		
7	グラフと図形		グラフと図形の作成P104～138		
8	グラフと図形		演習P139, 140		
9	ブックの利用と管理		ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153		
10	ブックの利用と管理		演習P154, 155		
11	関数		統計から日付P158～188		
12	関数		演習P189, 190		
13	データベース機能		リスト作成からテーブル機能P192～210		
14	データベース機能		演習P211, 212		
15	総合学習問題		テキストP214～217		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				



科目名	ブライダルマナー				
担当教員	大和田 良子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーションスキル・挨拶・言葉使い・接客の仕方などを身に付ける。 ロールプレイングの実施。 披露宴・婚礼に必要な知識を見につける。				
学習目標 (到達目標)	結婚式に必要な知識・マナーを身に着けます。ブライダル業界での業種・式場スタイル・見積もり・広告・ブライダルドレスなどブライダルに関する幅広い知識を学びます。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル実務テキスト・ワークシート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ヒューマンスキルの重要性 (ブライダルコンプレイン・良好な人間関係を築く・ほうれんそう・コミュニケーションスキル)		テキストp8～p13		
2	ヒューマンスキルの重要性 (アサーションとは・アサーションの行動と見分け方・アイスブレイク・クローズ・オープンスチョン・クロージング) 第一印象・名刺渡し方・身だしなみ		テキストP10～P17		
3	言葉使い・尊敬語・謙譲語・丁寧語・プレゼンテーション (プレゼンテーションとは・上手なプレゼンテーションをするには・プレゼンテーションのポイント)		テキストP18～P22 プリント1		
4	挨拶の仕方・名刺の渡し方動画確認。		授業内テスト・実習		
5	新規顧客 (新規接客時の心得・新規顧客の流れ・新規接客から契約までのフロー・申込書と契約書) カウンセリング (重要性・スキル)		テキストP23～P26		
6	ロールプレイング (ロールプレイングとは・実践でロールプレイング・ロールプレイング効果・ロールプレイングの演技内容・評価・設定)		テキストP27～P30 実習		
7	ロールプレイング (ロールプレイングとは・実践でロールプレイング・ロールプレイング効果・ロールプレイングの演技内容・評価・設定)		テキストP27～P30 実習		
8	披露宴企画・婚礼に必要な書類 (申込書・オーダーシート・進行表・配席表・見積書)		テキストP31～P36		
9	披露宴企画・ディレクターの役割・アテンダーの役割・		テキストP37～P40		
10	挙式・披露宴の当日の流れ・進行台本の作成		テキストP41～P43		
11	ペーパーアイテムとテーブルプラン		テキストP44～P49		
12	招待状の基礎知識・		テキストP50～P55		
13	テーブルプランの基礎知識		テキストP56～P61		
14	ペーパーアイテム		テキストP62～P68		
15	婚礼市場の調査・婚礼市場の実態・ランキング作成		テキストP69～P72		
16	ブライダルパッケージ (ブライダルパッケージとは・パッケージ構成・仕組み・料金・作成に必要な知識)		テキストP73～P81		
17	販売促進・広告媒体の実例・ブライダルフェア (ブライダルフェアとは・フェアの内容・趣旨と現状・今後の方向性・様々なブライダルフェア)		テキストP82～P87		
18	ブライダル式場リサーチ・ (新潟県内・東京での式場別リサーチをまとめて)		資料作成		
19	ブライダル式場リサーチ・ (新潟県内・東京での式場別リサーチをまとめて)		資料作成		
20	ブライダル式場リサーチ・ (新潟県内・東京での式場別リサーチをまとめて)		資料作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト30%、レポート60%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴	ブライダル業での結婚式・披露宴司会25年				

科目名	ブライダルマナー				
担当教員	大和田 良子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	ウェディングフラワー装飾・イメージ別会場装花など、装飾の役割を学ぶ。 ブライダルドレス・テキスタイル・アクセサリー・小物など、名称・特徴を理解する。				
学習目標 (到達目標)	結婚式に必要な知識・マナーを身に着けます。ブライダル業界での業種・式場スタイル・見積もり・広告・ブライダルドレスなどブライダルに関する幅広い知識を学びます。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル実務テキスト・ワークシート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーブル種類		確認テスト		
2	ウェディングフラワーの基礎知識・これからのウェディングにおける花装飾の役割・歴史・流行・言い伝え		テキストP94～P97		
3	フラワービジネス・流通の仕組み・経路・仕込みから完成までの手順・フラワーコーディネーターの心得		テキストP101～P109		
4	ファーストイメージとコーディネート・イメージ別会場装花		テキストP110～P113		
5	装花アイテム・チャペル装花・披露宴会場装花・新郎新婦装花		テキストP114～P121		
6	アクセサリー・その他の装花アイテム		テキストP122～P135		
7	ブライダルドレス・シルエット・アクセサリー名称・特徴		ドレス資料配布説明		
8	ブライダルドレス・シルエット・アクセサリー名称・特徴		ドレス資料配布説明		
9	男性洋装名称・特徴		男性洋装資料配布説明		
10	男性洋装名称・特徴		男性洋装資料配布説明		
11	ブライダル花装飾・ブーケの種類		ブーケ資料配布説明		
12	ブライダル花装飾・ブーケの種類		ブーケ資料配布説明		
13	ブライダル素材説明		ブライダル素材資料説明		
14	ブライダル素材説明		ブライダル素材資料説明		
15	ブライダルレース説明		ブライダル素材資料説明		
16	ブライダルレース説明		ブライダル素材資料説明		
17	授業内テスト		ブライダルドレス・シルエット・ブーケ名称テスト		
18	授業内テスト		ブライダル素材名称・特徴テスト		
19	授業内テスト		ブライダル素材レース名称・特徴テスト		
20	まとめ		まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト50%、レポート40%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴		ブライダル業での結婚式・披露宴会司会25年			

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	パンクムーブメント		パンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女性ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	商品素材知識B				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・検定説明		教科書 P8		
2	ファッション販売技術①		教科書 P20～P22 過去問題演習		
3	ファッション販売技術②		教科書 P23～P27 過去問題演習		
4	ファッション販売技術③		教科書 P28～P32 過去問題演習		
5	ファッション販売技術④		教科書 P33～P39 過去問題演習		
6	ファッション販売技術⑤		教科書 P40～P45 過去問題演習		
7	商品知識①		教科書 P46～P49 過去問題演習		
8	商品知識②		教科書 P50～P54 過去問題演習		
9	商品知識③		教科書 P55～P58 過去問題演習		
10	商品知識④		教科書 P59～P63 過去問題演習		
11	商品知識⑤		教科書 P64～P72 過去問題演習		
12	商品知識⑥		教科書 P73～P81 過去問題演習		
13	商品知識⑦		教科書 P82～P86 過去問題演習		
14	商品知識⑧		教科書 P87～P93 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	商品素材知識B				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識⑨		教科書 P94～P101 過去問題演習		
2	商品知識⑩		教科書 P102～P105 過去問題演習		
3	商品知識⑪		教科書 P106～P111 過去問題演習		
4	商品知識⑫		教科書 P112～P117 過去問題演習		
5	小テスト		小テスト		
6	商品知識⑬		教科書 P118～P123 過去問題演習		
7	商品知識⑭		教科書 P136～P141 過去問題演習		
8	商品知識⑮		教科書 P142～P145 過去問題演習		
9	商品知識⑯		教科書 P146～P151 過去問題演習		
10	小テスト		小テスト		
11	売り場づくり①		教科書 P152～P159 過去問題演習		
12	売り場づくり②		教科書 P160～P165 過去問題演習		
13	売り場づくり③		教科書 P166～P170 過去問題演習		
14	売り場づくり④		教科書 P171～P173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	意識づけ、働くとは。		なぜ働くのか？パワーポイントでアルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
2	ライフデザインナビ入力		ライフナビ入力を携帯で入力し、後日データでフィードバック		
3	企業が求めている人材とは。		アパレル業界企業が求めている人材について資料に基づき解説		
4	就職のしげジュールや企業研究方法		就職のスケジュールを解説。学生時代に何を取り組めば良いのなどを解説		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明(宿題)プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方(訪問の方法)		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法(電話・メールでのマナー)		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座(男女別)		リクルートスタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
3	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
4	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
5	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策6		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策7		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策8		コミュニケーション検定対策授業		
10	コミュニケーション検定対策9		コミュニケーション検定対策授業		
11	コミュニケーション検定対策10		コミュニケーション検定対策授業		
12	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
13	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
14	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				



国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	アメリカ・ロサンゼルスについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
5	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業①		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
6	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業②		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
7	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業③		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
8	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
9	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
10	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
11	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
12	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
13	韓国・ソウルについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
14	韓国ファッション論①		韓国のファッション歴史や特徴講義		
15	韓国ファッション論②		韓国のメイク歴史や特徴講義		
16	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
17	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
18	フランス・パリについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
19	フランスブランドの歴史①		フランスを代表するブランドからの講義		
20	フランスブランドの歴史②		フランスを代表するブランドからの講義		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート評価：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	イタリア・ミラノについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
5	イタリア・ミラノについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
6	イタリア・ミラノについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
7	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
8	モードファッションについて		フランス在住デザイナーからの講義		
9	海外研修旅行について①		研修内容講義		
10	海外研修旅行について②		研修内容講義		
11	海外研修旅行について③		パスポートについて講義		
12	海外研修旅行について④		クレジットカード・海外通貨について		
13	海外研修旅行について⑤		研修先企業について講義		
14	海外研修旅行について⑥		研修先企業について講義		
15	海外研修旅行について⑦		研修先企業について講義		
16	海外研修旅行について⑧		研修中注意事項①		
17	海外研修旅行について⑨		研修中注意事項②		
18	海外研修旅行について⑩		出発前の最終注意事項		
19	研修期間①		研修先での研修及び演習		
20	研修期間②		研修先での研修及び演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				